

- 続きまして、「個別最適な学びに関する実証研究」について、御説明いたします。
- 本県では、全ての子供たちの「主体的な学び」の実現に向けて、個別最適な学びに関する調査研究を進め、令和2年3月に「個別の状況に応じたカリキュラムの編成・実践に係る提案」を整理するとともに、同年4月から、県内4地域におきまして「個別最適な学びに関する実証研究」に取り組んでいます。
- 例えば、報道提供資料の【事例1】にございます、廿日市市立宮園小学校では、「自ら考え行動する子供」の育成を目指し、子供たちが『学習計画表』を活用して、教科書、プリント、AI型タブレット教材等の多様な選択肢の中から、自分に合った学習方法を選択し、自分のペースで学ぶなど、各実証校において、子供たち一人一人の学習進度・能力・関心等に応じた多様な選択肢を提供することで、子供たちは自己決定、自分で決めるということを繰り返しながら、主体的な学びを展開しているところです。
- 1年間の取組を通して、全ての実証校において、9割以上の子供たちの資質能力が向上したこと、自己決定を繰り返すことで、実行力、それから自己効力などの資質能力も伸びた、などの成果が見られています。自分で決めるということは、これくらい効果があるということでございます。
- さらに、児童生徒アンケートでは、「自分に合ったペースや、方法で学習する授業の方が子供たちの理解度や満足度が高い」という結果も見られました。
- この度、こういった各実証校における実践事例と教育効果等を「個別の状況に応じたカリキュラムの編成・実践に係る提案」実践事例編として取りまとめました。今後、この実践事例編を参考として、多くの学校において子供たちの実態に応じて、「効果がありそうだ」「取り入れてみたい」と思う事例を選択して、個別最適な学びを実践してもらいたいと考えております。
- きっと、子供たちはこれまで以上に、主体的に学ぶ姿を見せてくれると思っております。
- 「個別最適な学びに関する実証研究」についての説明は、以上でございます。